

研究内容の説明文

献血者説明用課題名 (括弧内は公募申請課題名)	血液が固まったり溶けたりするしくみに関する研究 The mechanisms of thrombus formation and dissolution (血液凝固線溶調節機構に関する研究)
研究開発期間 (西暦)	2026年4月～2027年3月
研究機関名	浜松医科大学
研究責任者職氏名	教授 鈴木 優子

研究の説明

- 研究の目的・意義・予測される研究の成果等
血液が固まることで出血は止まり、いっぽうで血管の中では血が固まって血栓を作らない、また血栓ができてもすぐに溶かすしくみがあります。このしくみはまだ完全にはわかっていないため、異常出血や血栓症がおこってしまいます。このようなしくみを、血漿を使った解析で明らかにすることは、異常出血や血栓症による病態を軽くする、あるいは予防することに役立つこととなります。
- 使用する献血血液の種類・情報の項目
献血血液の種類：血漿（規格外）
献血血液の情報：なし
- 共同研究機関及び研究責任者氏名
共同研究機関はありません。
- 献血血液の利用を開始する予定日
2026年6月15日
- 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》
献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。
《研究方法》
これまでに健康人ボランティアより採取した血液を利用して血漿を分離し、凝固（血液が固まる）線溶（固まった血液が溶ける）反応調節機構の解析を進めてきた方法と同様に行います。具体的には血漿を使って凝固や線溶を起こさせて、どのような原因でそれが変化をするかを調べることで、血漿の凝固線溶調節因子の役割、ならびにこれらの血球や血管を構成する細胞との相互作用を明らかにするものです。血漿の性質が均一な献血血液由来のプール血漿を使って比較検討することにより、様々な条件下において凝固線溶活性へ影響する要因の役割の解明を進めます。
- 献血血液の使用への同意の撤回について
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。
- 上記6を受け付ける方法
「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

	受付番号 R080037

本研究に関する問い合わせ先

所属	浜松医科大学
担当者	鈴木 優子
電話	053-435-2247 (医生理学講座)
Mail	seigan@hama-med.ac.jp